

子宮頸がん検診をこれまでに受診された・今後受診される予定の
平成2年度～平成9年度生まれのみなさまへ

「HPVワクチンに関する疫学調査」 ご協力のお願い

調査の目的

平成22年からHPVワクチン（子宮頸がん予防ワクチン）の公費助成が始まりました。私たちは、ワクチンの効果がどれくらいか、「症例対照研究*」という手法で、調査を行っています。

*症例対照研究：今回の調査では、**子宮頸がん検診で異常所見のあった方**と、**そうでない方**のHPVワクチン接種歴を比較することで、HPVワクチンがどれくらい効果があるのかを評価します。

ご協力いただきたい内容

平成25年度から平成29年度の5年間に、20～24歳で、子宮頸がん検診を受診された方の中から、調査対象者を選ばせていただき、HPVワクチンの接種状況を市町で確認させていただきます。

<協力の自由と個人情報の保護について>

- ・この調査では個人情報は厳格に管理され、お名前等が公表されることはありません
- ・調査にご協力いただけない場合でもいかなる不利益も受けることはありません
- ・ご質問や、ご協力を望まれない場合は、検診スタッフや下記までお申し出ください

問い合わせ先

日本医療研究開発機構 革新的がん医療実用化研究事業
「HPVワクチンの有効性の評価のための大規模疫学研究」

- 研究代表者 榎本隆之（新潟大学 産科婦人科学） TEL: 025(227)2320
- 研究分担者 原 めぐみ（佐賀大学 予防医学） TEL: 0952(34)2289
- 研究分担者 上田 豊（大阪大学 産科学婦人科学） TEL: 06(6879)3351

今後のHPVワクチン接種のあり方を判断するため、
ご協力をよろしくお願い致します。

